

【墨田区長 山崎 昇 殿】

子どもたちを内部被曝から守り、安心、安全な子育てのできる墨田区を！



墨田ママパパ共同署名&メッセージ

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たちをとりまく状況は一変しました。内部被曝への不安が払拭されない日々を過ごしています。墨田区内にも多くの「ホットスポット」が発見され、除染活動も行なわれてきました。しかし、依然として「ホットスポット」は存在し、各地で放射性物質による深刻な土壌汚染も発見されています。

私たちは、子どもたちを内部被曝から守り、安心、安全な子育てのできる墨田区にするために、以下のことをとめます。

①内部被曝の危険から子どもたちを守る給食を

- ・給食食材の放射性物質の事前検査を実現してください。
- ・放射性物質「0ベクレル給食」（保育園、幼稚園、小中学校）（※）を実現してください。

※「0ベクレル給食」の考えかたについて

- ①給食食材の産地を公表し、②給食食材の事前検査を行う。③区が定める「対応基準値」を現在の40ベクレル/kgから、20ベクレル/kgに設定を改め、強化する。以上のことにより、給食に含まれる放射性物質の値が、極めて0に近い給食を実現する。将来的に0ベクレルをめざす。
- ・保護者から要望のあった場合、水筒（水、お茶）の持参を認めてください。
- ・給食の放射線量検査を、現在の各学園・月1回という検査体制を見直し、「各学園・週1回」を実現してください。これを実施するために必要な体制（人員、必要な測定器の購入）をつくってください。
- ・放射能対策予算の拡充を求めます。

②子どもたちが安心して学び、生活できる環境を

- ・保育園の遠足やイモ掘り、修学旅行や校外学習（林間学校）をする場合、現地の放射線量状況を確認し、保護者に知らせてください。また、放射線量が、法令の範囲を超える状況が発見された場合、プランの変更、修正をしてください。

③放射線測定強化を

- ・保育園、幼稚園、小中学校の敷地内（砂場を含む）、および区施設（児童遊園含む）の土壌汚染を必ず検査し、8000Bq/kgを超える数値が測定された場合すみやかに除染作業を行なうこと。また、区有地の土壌汚染状況も検査してください。

氏名	住所	放射能への不安や墨田区への要望

取り扱い団体【墨田区の子どもを放射能から守る会】

本署名は、これ以外の用途に用いません。

墨田区の子どもを放射能から守る会
東京都墨田区堤通 2-7-10-604